



社長のための
経営雑学
新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第104号

平成28年2月8日(月)

発行：久保総合会計事務所

〒536-0006

大阪市城東区野江4丁目11番6号

TEL (06) 6930-6388

FAX (06) 6930-6389

低学力の子どもたちを救い上げ新市場 教育産業でニッチ分野に活路見出す

教育産業界で08年にeラーニングを看板にベンチャー企業を立ち上げた「すららネット」（東京都）の急成長ぶりが注目の的だ。特徴は「ニッチ（すき間）＆ブルーオーシャン」（競争のない未開拓市場）を開拓したことだ。

市場とは、これまで死角ともなっていたような、低学力の子どもたちを救い上げる分野。創業時からパソコンなどを活用する、eラーニング（情報技術＝IT利用の学習システム）の教育事業で、小学校高学年から高校生までを対象に、科目は英、数、国の3つだけ。各教材は学習意欲を高めるために、アニメのキャラクターが、（答えが正解、不正解で）ほめたり残念がったりするインタラクティブ（対話型）なコンテンツ。できなかったら、より易しい問題を出題し、みんなが成功体験を得られるようにする。特に学力の低い層の学力アップで成果を上げた。教育ビジネスは、できる子を、さらに伸ばす競争だが、その差にビジネスシーズがあった。成長企業の足跡は「小さく生んで大きく育てる」ーまさに子供の成長の見本。これまでeラーニング大賞（文部科学大臣賞）受賞、日本パートナーシップ大賞（優秀賞受賞）で注目された。一方で同業大手のベネッセHDやNTTドコモベンチャーズと業務提携、今年1月からマイナビと資本提携した。新たな教育ベンチャーが国内外の新市場切り開く「鑑」といえよう。